

**黒字型人生のすすめ** (総裁、祐太氏対談)(2017年5月3日)担当:石田昭 2017年5月13日

- 1 お金もちになる人、結果論、運もある。しかし、努力しても駄目な人、環境のせい、言い訳上手が多い。できない言い訳する人で企業家、金持ちは見たことがない。頭のいい人(大学教授、医者、弁護士)に出会ったが、一山当てられる人なし。皆不可の言い訳上手。
- 2 実現党でもどこの世界でも、2割8割の法則。勝ち筋のひと、リバウンド力、挑戦心。
- 3 お金が取れる人は仕事ができる人。体系的廃棄、まったく新しいやり方を発明できる人。
- 4「君の名は」は日本神道をよく研究し、ヒット。気付かないけど、縁、結び、組紐に反映・共感を呼んでいる。ROの映画は感性がいまひとつ(祐太氏)。先生は幅広い見識で諷諷の姿勢が
- 5 経営者は細かな面も要るが知恵を使ってアバウトな面も必要。職人肌の人も居るから。
- 6 職員は法の学び(ソフト探求)は当然のことだが、感性が薄れて来て、話が心に響かない。「教育」には、平準化が必要だが、「何で?」「どうして?」を忘れると、TPOが取れない。
- 7 創造性ある人の使い方。2千年の歴史で「火あぶり」にして潰してきた歴史。でもトヨタのように、組織でその気になれば、「創造性」を社風にできる。三河の風土ではない。
- 8 組織の目標達成意欲には下位と上位で意識差がでる。下位レベルでも成長率のような意識を持って欲しいが難しい問題。規模に応じて、イノベーションが必要。総裁もジレンマ。
- 9 経営レベルと官僚レベルでは思考が違う。官僚が威張っているのは福沢諭吉の時代から同じ。経営とは全体を見、全情報をぶち込んで、先を考える仕事。小さな政府の共和党的なもの。安倍首相まで大学授業料無償化、と民主党的になってきた。国が考える政策は失敗が多い。増税を狙った男女雇用均等法も離婚が増え、貧しくなって、少子化も防げず。
- 10 日本の経営者の質低下。柳井氏、安売りで多くの企業を潰した。孫氏、M&Aで大きくしているが、潰れるべき会社を抱え込んでいるだけ、新しいビジョンが生まれていない。
- 11 日本社会が将来に対し悲観的なのかも、藤原帰一教授まで北海道新幹線は赤字、停止論。
- 12 自由を認め、発展するには、嫉妬心を克服し、所得差を認めるべき。格差が社会を引き上げている面。マルクス主義は嫉妬の合理化であることを見抜く。文鎮型は貧乏の平等化。
- 13 もう一つの重要な視点：個人が成功して、周囲の給料が上がれば、嫉妬は無くなる。あの人には稼ぎ頭で、頑張ってくれる有難い人です、となる。芸能事務所がその世界。(諷諷)
- 14 実績を出し、感謝されるなら、人は付いてくる。ダメと思えば付いてこない。若い人のやる仕事はまず勉強し、周囲から認められること。嫉妬による下げ圧力。(祐太氏)若くして出世し、重圧があることを知ってほしいという気もあるが、やるべきことをやること。
- 15 夢想型の人で、とてもできないと思えるようなことを、決断し、成功して、実績を出すと、人は信頼して付いてくる。階級闘争型の人生では進歩が止まる。ドラマ下克上の世界(両親中学卒)でも、自分の手柄とだけ思わず、両親への感謝。みんな同じワンパターン。
- 16 個人としての黒字型人生の心がけは?失敗を他人のせいにしない。成功したときに多くの人に感謝を忘れない。高学歴で成功しない人には自画自賛の人が多。私欲があるかどうかを周囲はよく見ている。私欲がなく、公的な利益を目指している人は上に行くだろう。
- 17 まず、血の小便がでるほど働く、頭のいい人は頭を使え、だが机上の空論の人も多。
- 18 祐太氏へ：個人の能力磨きは当然だが、他人の使いかたも学ぶ。そのための人間観察力も磨く。最後は勇気である。成功の前で退く人、決断できない人には付いていかない。
- 19 天之御中主の気落ち霊言：理由?敗戦で受けた天之御中主・天照体制のヒビ割れとは何か?邦人を外地に放置した政府の責任、北朝鮮に残した日本皇室の職員、顕在化か?日本神道のリストラ、新体制か。